

## 少数台数のリコール届出の公表について（平成18年4月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成18年4月は下記のとおり4件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド（対象台数追加リコール）

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月13日 (公表済み)	外1298	車名：フェラーリ 型式：GH-F360S 通称名：360スパイダー	19	平成15年2月21日～ 平成15年4月18日
不具合の部位等	左右燃料タンクとキャニスタを接続するために取り付けているロールオーバーシャットオフバルブ（前側）のホースの長さが不適切なため、そのまま使用を続けると、当該ホースを取り付けた際に発生する応力により、当該ホースが折損することがある。そのため、エンジン警告灯が点灯するとともに、燃料蒸発ガスが漏れ出し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

## 2. 届出者：ニコルレーシングジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月20日	外1301	車名：BMWアルピナ 型式：ABA-RH12 通称名：アルピナB5	9	平成18年1月12日～ 平成18年3月22日
不具合の部位等	機械式過給器内のギヤシャフトの強度が不足しているため、駆動時の振動により亀裂が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該シャフトが破損して、原動機内に破片が混入し、最悪の場合、原動機が停止するおそれがある。			

## 3. 届出者：ダイムラー・クライスラー日本株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
4月25日	外1299	車名：メルセデスベンツ 型式：不明 通称名：416CDI	13	平成17年1月17日～ 平成17年3月10日
不具合の部位等	駐車ブレーキ・ケーブルにおいて、ガイドローラの取付構造が不適切なため、駐車ブレーキの操作時に、当該ケーブルとガイドローラの摺動抵抗が高くなることある。そのため、そのまま使用を続けると、ケーブルが摩耗し、最悪の場合、切損して、駐車ブレーキが作用しなくなるおそれがある。			

## 4. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
4月27日	1661	車名：いすゞ 型式：KL-LV280L1等 通称名：エルガ	56	平成13年11月22日～ 平成17年8月3日
不具合の部位等	前軸用ブレーキにおいて、エアオーバハイドロリックブースタ取付金具の溶接指示が不適切なため、車体に確実に溶接されていないものがある。そのため、走行時にブースタが大きく振動し、接続されているエア配管またはオイル配管が損傷し、制動力が低下するおそれがある。			

[参考]

平成18年4月のリコール届出総件数(※)		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	9件	8件	1件
輸入車	3件	1件	2件
計	12件	11件	1件

※対象台数の追加の届出については届出総件数に含みません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室 中村、傳田 電話 03-5253-8111 (代表) (内線42352・42353)
--